



2020年7月9日

各位

会社名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 中富 一榮
(コード番号 4530 東京・名古屋・福岡)
問合せ先 常務取締役執行役員 IR 室長 高尾 信一郎
(TEL 03-5293-1714)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年4月10日に公表いたしました「2020年2月期決算短信」において、未定としておりました2021年2月期の通期業績予想及び配当予想を下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	127,000	12,900	14,800	10,600	129.80 円
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績 (2020年2月期)	140,992	22,727	25,628	18,694	227.58 円

2. 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年4月10日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	—	41.75	—	41.75	83.50
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (2020年2月期)	—	41.50	—	41.50	83.00

3. 公表の理由

2020年4月10日に公表した「2020年2月期決算短信」では、新型コロナウイルス感染症拡大による当社業績への影響を合理的に算定することが困難であったため、2021年2月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、今般現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、あらたに2021年2月期の通期連結業績予想及び配当予想を算定いたしましたので、公表いたします。

2021年2月期第1四半期は、世界各国で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた結果、売上高が前期比14.9%の減収となりました。新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの、各国において経済活動が再開されており、第2四半期以降は減収幅が段階的に縮小していくと予想しております。一方で、渡航制限による訪日外国人の大幅な減少について、いまだ回復の時期は見通せません。このような状況を現時点で可能な範囲で織り込んだ結果、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前期実績に比べていずれも減少すると予想しております。

なお、業績予想は、新型コロナウイルスの感染拡大・収束の状況や時期をはじめとする外的要因により予期せぬ変動が生じる可能性も否定できないため、大きな変動が見込まれる場合は、改めて速やかに業績予想を修正いたします。

※上記に記載した業績等の予想数字は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上